

## 2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：金融機関論特論		専修：経済専修	
担当教員名：山本 俊		科目区分：展開科目	
<p>授業科目概要：</p> <p>本科目の目的は大きく2つある。</p> <p>第1は金融機関、特に銀行業に関する経済理論を修得することである。ここでは先ず、金融機関の役割を、情報の非対称性、契約の不完備性などの視点から、ミクロ経済学を用いて分析する。次に、金融機関が役割を果たす上で活用している規模の経済性や範囲の経済性に加え、金融機関の経営効率性を学ぶ。</p> <p>第2は、金融機関（特に、銀行）に関する実証分析の手法を修得することである。ここでは、規模の経済性や範囲の経済性、効率性を、実際のデータを用いて計測するための分析方法を学ぶ。</p>			
<p>履修上の留意事項：</p> <p>あらかじめ金融経済学特論やミクロ経済学特論および計量経済学特論の単位を取得していると授業内容を理解しやすいと考えられる。これら科目の単位を取得していない場合には、各科目のシラバスで指定されている教科書などを使って自習しておくことを望む。また、エクセルなどの表計算ソフトを自在に操作できると、後半の（第2の内容の）授業を理解しやすいと考えられる。</p>			
教科書・参考書（参考文献）			
<p>書名（参考書1）：金融 [新版] 著者／編者：内田浩史 著 出版社：有斐閣 出版年：2024年</p> <p>金融機関や金融制度が金融取引の阻害要因をどのように抑制しているのかをミクロ経済学の視点から丁寧に解説している。</p>		<p>書名（参考書2）：現代金融論入門 著者／編者：工藤和久 出版社：現代図書 出版年：2010年</p> <p>銀行行動や金融制度の意義を、情報の経済学を応用し、数値例を多用して丁寧に解説している。</p>	
<p>書名（参考書3）：地域金融の経済学 著者／編者：小倉義明 出版社：慶応義塾大学出版会 出版年：2021年</p> <p>銀行の役割を人口減少下における地方活性化と関連付けて、実証と理論の両面から平易に解説している。</p>		<p>書名（参考書4）：日本の金融機関経営 著者／編者：粕谷宗久 出版社：1993年 出版年：東洋経済新報社</p> <p>金融機関の規模の経済性や範囲の経済性の計測に関する理論を丁寧に解説している。</p>	
ディプロマ・ポリシー（DP）との関係			
DP1		DP2	DP3
○			
<p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関の役割をミクロ経済学の視点から説明できること。</li> <li>金融機関の規模の経済性や範囲の経済性、経営効率性の概念を理解し、実際に推計できること。</li> </ul>			
<p>評価方法及び評価基準：以下の2つを総合して評価する。</p> <p>(1) 授業内で実施するクイズまたミニレポート：40%</p> <p>(2) 期末レポート：60%</p> <p>その上で、60%をF、60～69%をC、70～79%をB、80%以上をAとして評価する。</p>			
<p>授業の方法：</p> <p>原則として、講義形式で授業を進める。ただし、適宜、受講生からの報告や発表を求める。</p>			

第1回	<p>テーマ：金融機関（1）</p> <p>内 容：銀行の業務と財務諸表を確認します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第8章、金融庁「地域金融力強化プラン」</p>
第2回	<p>テーマ：金融機関（2）</p> <p>内 容：金融機関の資産変換機能①を確認します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第3章</p>
第3回	<p>テーマ：金融機関（3）</p> <p>内 容：金融機関の資産変換機能②を確認します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第4章</p>
第4回	<p>テーマ：金融機関（4）</p> <p>内 容：金融機関の資産変換機能③を確認します。</p> <p>教科書／参考書：参考書2第9章、10章、参考書1第6章</p>
第5回	<p>テーマ：金融機関の経営統合（1）</p> <p>内 容：金融機関の経営統合を巡る公正取引委員会と金融庁の考え方の違いを起点に、金融機関の経営統合の諸論点を学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書3第6章、金融庁「地域金融の課題と競争の在り方」</p>
第6回	<p>テーマ：金融機関の経営統合（2）</p> <p>内 容：金融機関の経営統合を巡る公正取引委員会と金融庁の考え方の違いを起点に、金融機関の経営統合の諸論点を学修します。（前回の続き）</p> <p>教科書／参考書：参考書3第6章、金融庁「地域金融の課題と競争の在り方」</p>
第7回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の準備（1）</p> <p>内 容：生産関数と費用関数</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内する。</p>
第8回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の準備（2）</p> <p>内 容：銀行業の生産物と生産要素</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内する。</p>
第9回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の準備（3）</p> <p>内 容：規模の経済性と範囲の経済性</p> <p>教科書／参考書：参考書4の第3章</p>
第10回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の準備（4）</p> <p>内 容：技術効率性、費用効率性</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>
第11回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の先行研究（1）</p> <p>内 容：適切な費用関数を推計し、規模の経済性や範囲の経済性を分析している先行研究に触れてみましょう。</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>
第12回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析の先行研究（2）</p> <p>内 容：適切な費用関数を推計し、規模の経済性や範囲の経済性を分析している先行研究に触れてみましょう。</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>
第13回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析（1）</p> <p>内 容：銀行業の規模の経済性と範囲の経済性を計測してみましょう。</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>
第14回	<p>テーマ：金融機関に関する実証分析（2）</p> <p>内 容：銀行業の技術効率性などを計測してみましょう。</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>
第15回	<p>テーマ：レポート執筆指導</p> <p>内 容：これまでの学修内容を踏まえ、レポート執筆方法を学修します。ここでの学修内容に沿って、レポートを提出してください。</p> <p>教科書／参考書：必要に応じて授業にて案内します。</p>